

ハクウンラン

Vexillabium nakaianum F. Maekawa

ラン科

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

本県ではきわめて稀な植物である。(現況:RO)

形態

日本のハクウンラン属植物は3種とされているが、そのうちの1種のハクウンランが本県に分布する。茎の下部は匍匐するが、その先は立ち、高さ5~13cm。下部に数個の葉を散在。葉は卵円形、長さ3~7cm、葉柄があつて茎を抱く。花序には白色の花を1~数個着ける。花には軟毛が密生。側萼片の基部は合着して膨らむ。唇弁の基部は2つの半球状の膨らみがある距となる。なお、ハクウンランとオオハクウンラン *V. fissum* F. Maekawa の違同をめぐって議論がある。

国内分布

本州(中部以北)、四国に分布。

県内分布

南加賀区(白山麓)。

生態など

地生の多年生草本。開花期は7~8月。

生育環境

山林の林床。

危険要因

道路工事、踏みつけ、産地局限。



林 二良・2006年7月26日・南加賀

分布図はありません。